

(3) 認知症の種類

○アルツハイマー型認知症

女性に多く、進行は緩やか。
記憶障がい著しく、特に最近の記憶（短期記憶）が不得意になります。



うつ状態が見られることもあります。

【特徴】

- ・ 同じ質問を何度も聞く
- ・ 物事の段取り（食事の準備など）が悪くなる
- ・ 日にちが分からなくなる
- ・ 約束をしたことを覚えていない など

○脳血管性認知症

男性に多く、脳の血管障害がいで脳細胞が死滅することで発症します。



脳血管障がいのリスクとなる
高血圧、糖尿病などの治療・改善が予防につながります。

【特徴】

- ・ 意欲が低下する
- ・ もの忘れがあるわりにはしっかりしている（まだら認知症）
- ・ 手足の麻痺がある など

○レビー小体型認知症

初期のころはもの忘れより、
うつ状態、失神、震えといった症状が出たり、目の前にないはずのものが見える（幻視）を認めたりすることがあります。



【特徴】

- ・ いないはずの子どもや虫が見えると言う
- ・ 夢を見て反応し大声を出す
- ・ 初期の頃はもの忘れの症状は軽い など

○前頭側頭型認知症

もの忘れの症状は軽いものの、意欲や理性、感情をコントロールすることが難しくなります。

万引きや無銭飲食などで周囲を困惑させることもあります。

【特徴】

- ・ 同じ行動を繰り返す
- ・ 同じ食品を際限なく食べる
- ・ 周囲を顧みず自己本位な行動が目立つ など

若年性認知症とは、65歳未満で発症した認知症をいいます。

高齢者の認知症と特に病的に違いはないと言われていますが、若年性認知症は年齢が若い
ため、家庭内での問題や経済的な問題、病気に対する社会的誤解や偏見のため、本人だけではなく、
家族の生活にも影響が大きく、多くの支援が必要になることが多いため早めの相談が
大切です。

* 若年性認知症の方へのご案内 21ページ